



らくなる。並行している作業用歩道を使って登っていくと、二俣から10分程の所で水も濁れてしまう。私たちはここで遡行終了とし、作業用歩道を出合まで戻る。 (記・)

[タイム] 出合(12:00)→二俣(12:20, 12:30)→遡行終了(12:40)

### 沢藪沢(仮称)右俣

1990年10月14日

I

林道脇に車を止め、沢に入る。和泉さん達のパーティと二俣まで一緒である。平坦な地形で、樹林の中、沢は曲

がりくねり流れている。所々ナメ状になっているものの、何もなさそうである。踏跡が所々横断しているが、山仕事の道らしい。

二俣で和泉さん達と別れ、私たちは右俣へ進む。すぐヤブがかぶってきて、沢も1m程の堀になってしまい、遡行終了とする。

(記・)

[タイム] 出合(12:00)→二俣(12:20, 12:30)→遡行終了(12:40)

### 摺白沢

I

1990年9月23日

8:10天狗沢との出合から遡行開始。沢幅はせまいが、出合からナメが断続している。10分程で樽見沢出合。樽見沢は小さな沢で、出合はともすると見落としてしまいそうである。このあと嵯峨住沢出合まで更に10分。滝はなく、ナメがあるだけ。しかも一部伏流となる

